WAK WAK

発行
代表理事　岡本 茂
〒569　高槻市富田町2丁目 13-8
-0814　　ハイツ白菊1F
TEL/FAX　072－693－9005
E-mail:jinken@ba.wakwak.com
URL:http://wak2.jimdo.com

「ただいま～と言える子どもたちの居場所づくり」がNHK総合TV「地域魅力化ドキュメント」で全国放映されました！

「子どもたちが安心して元気になれる居場所づくり」をNHK全国放送局が取材放映

２月～４月まで約３カ月にわたって取材いただいていたWAKWAKの「ただいま～と言える子どもたちの居場所づくり」（子ども食堂、夕刻を支える場、学習支援）が４月30日（日）午前10時５分～48分にNHK「地域魅力化ドキュメント　ふるさとグングン」として放映されました。

滋賀県の先進的な取り組みからも学ぶ

取材にあたっては、NPO法人山科醍醐こどもの広場前理事長で子どもソーシャルワークセンター代表の幸重忠孝さんに事業立ち上げから関わっていただき、滋賀県大津市・米原市での先進的取り組みの視察もさせていただきました。

番組取材には多くのみなさんの協力が

スタジオ進行は幸重忠孝さん、俳優の風間トオルさん、ぺこ＆りゅーちぇるさん。番組では、孤食・不登校・いじめ・貧困…ひとりぼっちの子どもたちが安心して元気になれる居場所を地域につくりたいという住民の取り組みを通じて、富田小学校、第四中学校の生徒さん、子ども食堂に関わったみなさん、学習支援教室に通う子どもたちも登場しました。

放映後の反響も続々

番組を見ていただいたみなさんからはたくさんの励ましや視察お問い合わせをいただいています。なお、番組はNHK地域アーカイブズのホームページからもご覧いただけます。

小学校で子どもたちに絵本の読み聞かせを行う地域の主婦

子どもから家庭環境について電話で相談を受ける元教師

子どもの居場所づくりについて話し合う地域住民たち

「子どもたちの居場所をつくる」新たな取り組みがスタートしました

「ただいま～と言える子どもたちの居場所づくり」立ち上げ講演会とワークショップの開催（3/11）

桃山学院大准教授・金澤ますみさんから「子どもたちの夕刻を支える場」について講演。
予想を超える 156 名のみなさんが参加。来賓として高槻市・市社会福祉協議会、市議会議長、平安女学院大・大阪人間科学大の関係者、本事業に助成いただいた熊西地域振興財団理事長にもお越しいただきました。

二部として引き続き子どもソーシャルワークセンター代表の幸重忠孝さんを講師に「子どもたちの居場所」をテーマにワークショップ。

春休み子ども食堂「わくわく食堂」オープニングイベントには延べ 670 名が参加（3/29）

ステージでは四中校区テーマソング「今と未来」「アンパンマンの歌」「365 日の紙飛行機」等を奥村美岐子さんのピアノ、吉田仁志さんのギター、トライアングルの手話で演奏。富田・赤大路小学校の子どもたちも一緒に舞台に。

11 時から善太鼓でオープニング。就学前の子ども達を対象にした親子遊び「よちよちコーナー」、富田赤大路地域教育推進会議「手作り工作～パクパクコーナー」、第四中学校新２年生による「段ボールで遊ぼう」コーナーも大人気。つるちゃんの街頭紙芝居も大好評でした。

昼食は「カレーライス」。食材の多くは認定 NPO 法人フードバンク OSAKA から無償提供いただきました。当日、ボランティアに関わっていただいたみなさんは総勢 60 名。
「わくわく食堂」は、誰でも参加できる共生型食堂として次回は夏休みの開催を予定しています。

学習支援教室わんぴーすも４年目がスタート

「生活困窮はじめ様々な課題を持つ子どもたち」を対象とした学習支援教室も、４ 月から新年度がスタート。四中校区を対象に 19 名の中学生が参加、講師体制も教職員経験者７名、大学生９名の 16 名に強化して毎週月水の午後７時～9 時で開催しています。

子どもたちの夕刻を支える場「ただいま食堂」も４月からスタート

４ 月からは毎週水曜日の学習支援教室が始まる前の午後５時半～7 時に少人数によるケア付き食堂「ただいま食堂」も始めました。
スタッフは調理と子どもたちの支援にあたる高校生・大学生の８名。学校・家庭に代わる第三の居場所としての役割をめざします。

障がい者グループホーム「コラム富田」が４月末に竣工しました！

どんなに重い障がいがあっても地域で共に暮らし続けられるまちをめざして社会福祉法人つながりが建設中のグループホームが４月 27 日、高槻市長はじめ多くのご来賓も迎えて竣工式が行われました。
新しいグループホームは富田町 2 丁目の富寿栄住宅入り口にあり、５月連休明けから新しいホームでの生活が始まりました。利用定員は男性７名です。

マイノリティ・スタディツアーを５月に実施

今年度新しい事業として、アメリカ・サウスダコタ州のインディアン居留区を訪れるスターディツアーを実施しました。
スタディツアーは５月連休をはさむ 11 日間の日程で６名が参加。次回は７月 27 日～8 月 10 日の予定で実施します。

番組へのご感想（一部のみ紹介）

- たくさんの方を巻き込んでの取り組みすごいです。小さい子から中学生、大人、高齢者、たくさんの人に関心を持ってもらったことでは大成功。すでに始まっている学習会とセットの子ども食堂、これからが本番ですね。これからをこそ観たいです。　Y・N さん
- 子どもたちは地域の宝！この番組のような活動がますます盛んになり、地域の活性化に繋がることを願っています。富田地区が、より元気のある活力にあふれた街になることを期待しています。　T・H さん
- 中学生や自治会の皆さんも加わって、まちぐるみの子ども支援、素晴らしい。タウンスペース WAKWAK のコーディネート力ですね。　K・T さん
- 地域の皆さんの素晴らしい取り組み、感動しました。お役に立つことがあればお手伝いしたいです。　T・K さん他

会員継続と支援のお願い

賛助会員として広く活動を支援して下さい。なお、正会員は社員として議決権を有します。

正会員　（団体）１万円　（個人）５千円
賛助会員（団体）１万円　（個人）１千円

いずれも年額（１口）です。**入会手続き（継続含む）と会費納入**は同封の振替用紙をご利用ください。また、クレジットカードによる**オンライン寄付サービス**も導入しました。同封別紙をご参照ください。

すべての人に居場所と出番がある社会をめざして
―2017 年度社員(正会員)総会を開催しました―

３ 月 14 日に一般社団法人タウンスペース WAKWAK 理事会と社員（正会員）総会を開催し、2017 年度事業計画・予算案等を承認。引き続き５月 23 日に 2016 年度決算・事業報告のための理事会・社員（正会員）総会を開催し、いずれも承認議決されました。

2017 年度事業計画

今年度の法人重点課題

☺助成金・基金中心から事業収入中心へ財政基盤の強化を図ります。

☺マンパワー発掘によるまちづくりの活性化をめざします。

☺社会的包摂実現のため、制度、教育、地域からともすればこぼれ落ちてしまう層への事業を強化します。

1．地域福祉グランドデザインづくり事業を促進します

☺「富田富寿栄住宅建替基本構想」(2014 年３月)を受け、自治会組織と連携しながら「富田まち・くらしづくりネットワーク」の活性化・再構築と地域コミュニティの再生をめざします。

2．「すべての人に居場所と出番」がある社会をめざします

ボーダレスアート事業

☺ボーダレスアート教室「わんだーぼっくす」を引き続き毎月土の２回開催します。

コミュニティスペース事業

☺「おはなカフェ」事業の充実と子育て中のママさんと子どもたちへの支援の場を提供します。

3．ひとりぐらし高齢者・障がい者・若者支援事業を推進します

☺小学校区を単位に地域の福祉課題やニーズの掘り起こしと課題解決に向けた仕組み（コミュニティソーシャルワーク）や地域福祉ラウンドテーブルづくりに取りくみます。

4．青少年子育て支援（こどものあゆみバックアップ）事業

子どもたちへの学習支援事業

☺子どもたちへの学習支援事業と親支援・相談機能を強化し、新しく「ただいま食堂」と「子どもたちの夕刻を支える場」づくりを進めます。

社会的養護で暮らす子どもたちのエンパワメント事業

☺児童養護施設の子どもたちを対象にした自然体験活動やボランティアスタッフ研修を実施します。

5．人材（コミュニテイボランティア）育成事業と情報発信

☺連続講座「富田ものがたり」開催と共に、近隣大学と連携しながらまちづくりへの様々な活動に学生のみなさんの参加をつないでいきます。

☺富田地区視察受け入れメニュー充実と積極的な講師派遣、情報発信を行います。また、新たにマイノリティ・スタディツアーも実施します。